

年齢3区分別人口構成の推移

単位：人

実績 ← → 予測

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成26年
総人口	15,069	14,968	14,786	14,614	14,495	14,395	14,345	14,196	13,391
年少人口 (0～14歳)	1,922 (12.8%)	1,897 (12.7%)	1,855 (12.5%)	1,797 (12.3%)	1,786 (12.3%)	1,750 (12.3%)	1,769 (12.3%)	1,753 (12.3%)	1,678 (12.5%)
生産年齢人口 (15～64歳)	9,756 (64.7%)	9,639 (64.4%)	9,476 (64.1%)	9,342 (63.9%)	9,207 (63.5%)	9,075 (63.2%)	9,045 (63.1%)	8,898 (62.7%)	8,088 (60.4%)
高齢者人口 (65歳以上)	3,391 (22.5%)	3,432 (22.9%)	3,455 (23.4%)	3,475 (23.8%)	3,502 (24.2%)	3,534 (24.6%)	3,531 (24.6%)	3,545 (25.0%)	3,625 (27.0%)
前期高齢者 (65～74歳)	1,683	1,693	1,680	1,660	1,641	1,676	1,641	1,641	1,630
後期高齢者 (75歳以上)	1,708	1,739	1,775	1,815	1,861	1,858	1,890	1,904	1,995

資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

※平成26年（予測値）は、平成21～23年の住民基本台帳をもとに「コーホート変化率法」を用いて算出

桂

川町の総人口は平成16年から減少しており、平成16年の15,069人から平成23年の14,196人と、7年間で873人減っています。

年齢3区分別の人口構成の推移を見ると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の減少が続く中、高齢者人口（65歳以上）は増加しており、平成16年から7年間で3,391人から3,545人と154人増えており、その内訳を見ると特に75歳以上の後期高齢者人口が大きく伸びています（1,708人から1,904人…196人増加）。

また、高齢化率（総人口に占める高齢者人口の割合）も22.5%から25.0%に上昇しています。年齢3区分別人口構成比の推移をみると、平成16年では高齢者人口割合が年少人口割合を9.7

ポイント上回っていましたが、平成23年ではその差は12.7ポイントまで拡大し、少子高齢化が進行しています。こうした中、桂川町の一般世帯総数は平成23年では6,133世帯となっており、そのうち65歳以上の高齢者のいる世帯は2,475世帯（40.4%）となっています。



▲ 井上町長（右）に「桂川町第5期高齢者福祉計画」の答申を行う桂川町高齢者福祉計画策定委員会の下川康弘会長（左）